



2020年8月26日

各位

上場会社名 共同印刷株式会社  
代表者 代表取締役社長 藤森 康彰  
(コード番号 7914)  
問合せ先責任者 取締役専務執行役員 渡邊 秀典  
(TEL 03-3817-2101)

### 2021年3月期通期業績予想及び配当予想の公表ならびに 中期経営計画目標数値取り下げに関するお知らせ

2020年5月22日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました2021年3月期の通期業績予想及び配当予想について、下記の通りお知らせいたします。

これに伴い、2021年3月期を最終年度とする3か年の中期経営計画につきましては、目標数値を取り下げることと決定しましたので、あわせてお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2021年3月期通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	95,000	500	1,100	600	69.89
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	100,858	1,569	2,163	1,509	175.22

#### 2. 業績予想の前提条件

新型コロナウイルス感染症が当期中に完全に収束する可能性は低く、当社の業績に対しても通期で影響が続くと予想しておりますが、緊急事態宣言などの大幅な社会活動の制限が行われないこと、2021年に東京オリンピック・パラリンピックが実施されることを前提として業績予想を算定いたしました。

主なセグメントの概況は以下の通りです。

[情報コミュニケーション部門]

新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントの中止が相次ぎ、これらを取り扱う雑誌が休刊となるなど出版物の発行が減少しています。また外出自粛による店頭プロモーションの縮小や各種キャンペーンの中止・延期など販促需要が大幅に減少しています。

引き続きイベントの開催や各種キャンペーンの実施については各企業とも慎重な姿勢で臨むことが予想されることから、出版印刷・一般商業印刷の需要が前期並みの水準に回復していくことは難しく、セグメント全体の売上高は前期比で10%程度減少する見込みです。

[情報セキュリティ部門]

緊急事態宣言により企業の活動が停滞したことからデータプリント関連のアウトソーシング需要が減少しましたが、第3四半期以降は一定の水準まで回復すると見込まれます。一方、インバウンドの減少や外出自粛の継続などにより夏の旅客需要が回復せず年末に向けても低調に推移すると予想されることから、交通系ICカードや乗車券の利用は通期で大幅に減少することが見込まれます。

以上のことから、データプリントやBPOが前期を下回り、ICカード、乗車券が大幅に減少すると予想されるため、セグメント全体の売上高は前期比で10%程度減少する見込みです。

[生活・産業資材部門]

インバウンド需要の減少や外出自粛の影響も一部にみられますが、巣ごもり需要により家庭用の食品・日用品の消費量は増加しています。

紙器・軟包装・チューブなどのパッケージ需要は今後も堅調に推移すると予想され、2019年11月に本稼働を開始したブローボトル事業も寄与することから、セグメント全体の売上高は前期比で10%程度増加する見込みです。

この他、設備投資について必要性を吟味し不急の案件は延期を検討するほか、テレワークの推進やオンライン会議の活用によって働き方の効率向上と経費削減を図るなどして、利益創出をめざしてまいります。

以上のことから、2021年3月期通期連結業績予想につきましては、売上高は950億円（前期比5.8%減）、営業利益は5億円（前期比68.1%減）、経常利益は11億円（前期比49.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は6億円（前期比60.2%減）といたしました。

### 3. 2021年3月期配当予想について

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年5月22日)	一円一銭	一円一銭	一円一銭
今回修正予想	50円00銭	50円00銭	100円00銭
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	50円00銭	50円00銭	100円00銭

### 4. 配当予想の理由

当社は、配当性向30%以上を目標として株主の皆さまへの利益還元を重視しつつ、企業体質の強化に向けて必要な内部留保と合わせ、業績動向や財務状況等を総合的に勘案して決定することを配当政策の基本方針としております。

2021年3月期の業績につきましては残念ながら前期と比較して大幅に悪化する見込みですが、この基本方針を踏まえて慎重に検討した結果、2021年3月期の配当予想につきましては、1株当たり年間配当金100円(中間配当50円、期末配当50円)といたしました。

### 5. 中期経営計画の取り下げについて

新型コロナウイルス感染症の影響も含めた施策の進捗の遅れ等により、中期経営計画の最終年度となる2021年3月期の目標数値の達成は困難であると判断し、これを取り下げることにいたしました。

新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せず、今後も長期にわたって影響が続くと見込まれるなかで、新たな生活様式や消費行動が生まれ、定着することが予想されます。こうした事業環境の変化に積極的に対応しつつ、業績回復に向けた取り組みを強化いたします。あわせて合理化・効率化を徹底し、さらなる収益力の向上に努めてまいります。

新たな中期経営計画については、策定次第速やかに公表する予定です。

#### 【参考】中期経営計画における2021年3月期目標数値(2019年5月15日公表)

連結売上高	1,080億円
連結営業利益	35億円
連結経常利益	42億円
ROE	5.0%
EBITDA※	100億円

※EBITDA=営業利益+受取利息・配当金+減価償却費+のれん償却費で計算

(注)

上記の業績予想につきましては、現時点における入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、今後の様々な要因により業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上